

海岸防災林のお話（西北地域県民局の巻 その13）

さだ君： 海って気持ちいいね♪ おべ様！

おべ様： そうだね。ところで海の近くで育っているあの黒っぽい木はなんていう名前かわかるかな？

さだ君： 木の肌が黒っぽくて亀の甲羅のみたいな割れ目があるからクロマツ！！

おべ様： さすが！！さだ君は何でも知ってるね。
右の写真は昭和8年（1933年）今から80年前のつがる市木造越水の様子だよ。
さだ君のおじいさんが生まれる前かな。当時は木も何もなかったから、昔の人が一所懸命クロマツを植えたんだよ。

何のためにクロマツを植えたのかわかるかい？

さだ君： ん～。海水浴のとき日陰が欲しいからかな？

おべ様： そうだね、海水浴のときは日陰がないと暑いからね。

海岸防災林は、海からの風や、風によって運ばれる砂から、家やメロンとかスイカを作付けする畑を守る役割があるんだよ。
日本海中部地震や東日本大震災では、津波の勢いを抑えたと言われてるんだよ。

さだ君： マジすか？！？！？！

おべ様： マジっす。つがる市はクロマツを市の木に指定しているし、これからも大事にしないとイケないよ。

白い砂浜と青々とした松原は「白砂青松」と呼ばれるんだ。屏風山保安林のクロマツ林は白砂青松百選にも選ばれてるんだよ。

さだ君： あれ？あそこに生えてるのはクロマツじゃないね？それに木がいっぱい並べられてるよ？どうして？おべ様！

おべ様： いい質問ですね～！！

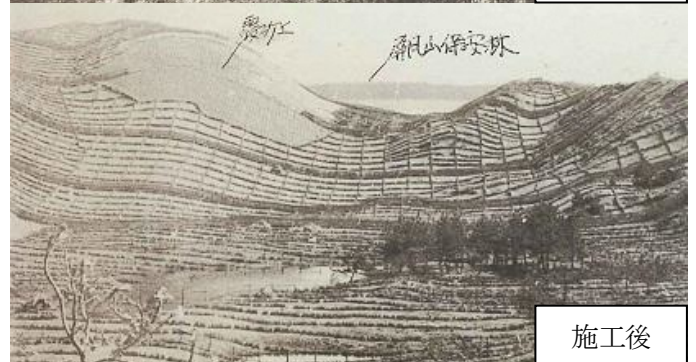
さだ君は「松くい虫」って聞いたことあ



十三湖上空から見た屏風山の海岸防災林



施工前



施工後

昭和8年施工（つがる市木造越水）

るかな？

さだ君： ん〜。あるような、ないような。

おベ様： 「松くい虫」はね、クロマツやアカマツなどの松に付く虫で、松を枯らす悪い虫なの。

さだ君： それ知ってる！

おベ様： さすがさだ君。さだ君は勉強虫だね。

松くい虫にクロマツが全部枯らされたら、さだ君が大好きなメロンやスイカが食べられなくなったり、そこに住めない人が出てくるでしょ。だからクロマツ以外の広葉樹（アキグミ、ヤシヤブシ、カシワ等）を植えているんだよ。

海側にある高い木の柵は「防風工」といって、強風から植えた木を守るんだよ。

内側にある低い木の柵は「静砂工」といって、風による砂の移動を抑えるんだよ。

広葉樹の風上側は萱を編んだ「衝立工」で植えた木を風から守っているんだよ。

さだ君： ヘ〜これも先輩方の知恵の賜だね。

ところで、こんなにいっぱいの木はどこから持ってくるの？

おベ様： 防風工や静砂工に使っている木は、公共事業による間伐で山にある森林から出てきた木なんだよ。間伐については前に勉強したから覚えてるよね？

さだ君： 環境公共通信（平成23年2月「西北地域県民局の巻 その4」）でやったから覚えてるよ。

確か・・・①木が混み合ってくる → ②森林が不健康になる → ③細い木ばかりで木の根元まで光が届かない → ④下草が生えなくなって保水力が無くなる → ⑤風や雨で木が倒れて土砂が流出する。だから間伐して、森林を健康な状態にする。って感じでしょ？

おベ様： わお！！バッチシ正解！！

その間伐した木を使ってるんだよ。だから、資源の有効利用になるんだよ。

さだ君： ねえねえおベ様、あそこのクロマツが枯れてるよ？

おベ様： なに！！事件です！！現場に行ってみよう！！

これは？！？！おそらく寒風害だね。海からの風は冷たくて強いから、クロマツが弱って枯れてしまったんだよ。こういう被害は、枯れたところから拡大していく恐れがあるんだよ。だから枯れてる場所も植栽工、防風工等で、森林を維持していく必要があるんだよ。

さだ君： 今まで勉強した、山にある森林も大事だけど、海岸にある森林も大事ってことだね。

森林を守ることが、地域を守ること。つまり「環境公共」の取り組みってことだね。

おベ様： そのとおり。さだ君グッジョブ！！。



アキグミ植栽状況



防風工・静砂工設置状況



被災状況（寒風害）